

第 56 回秋のハンギングバスケット & コンテナ作品展 審査講評

壁掛け部門

○草津市長賞、日本ハンギングバスケット協会理事長賞（ 久保田 美代子 様）

形や色合いが整っており背景と共に完成度の高い作品となっている。植え付け後の養生期間も十分確保されており植物の活力がうかがえる。

○草津市議会議長賞（ 岸田 茂子 様）

ハンギングではあまり見かけない特殊な素材を組み合わせたことで重厚感のある面白い作品に仕上がっている。

○草津市立水生植物公園みずの森園長賞（ 村山 伸子 様）

明るいい色合いでまとめられていて、背景と合った上品な雰囲気作品に仕上がっている。ハイビスカス ローゼルの赤色もポイントとして作品を引き立たせている。

○金賞（ 小松 清子 様）

黄色をベースとしたオータムカラーでまとめられており、植え込み技術も高いしっかりとした作品。

○金賞（ 吉川 美沙 様）

イエローリーフなどをうまく使い秋らしい雰囲気が表現されている。形も整っており、作品としてまとまりのあるものとなっている。

○銀賞（ 大垣 朱里 様）

手の込んだ背景が植物の色合いとよくマッチしており、カジュアルな雰囲気で上手く表現されている。

○銀賞（ 高見 周一 様）

植え込み技術が優れており、ボリューム感たっぷりに作品が出来上がっている。植物の色合いと背景もよく合っている。

○銅賞（ 上原 麻 様）

植物の組み合わせや背景を使い、暗い感じで統一された上品な作品として上手く表現されている。

○銅賞（ 内村 恵利佳 様）

秋を感じさせる植物の組み合わせにミズヒキが作品に動きを加え躍動感が演出され、この季節に合ったシックな作品に仕上がっている。

コンテナ部門

○草津市長賞（ 高橋 未希 様）

容器を工夫して斜めや垂直など多様な植え込み方法が活かされた空間が見事に構成されており、土台の黒色が作品をさらに引き立たせている。

○草津市議会議長賞（ 飯尾 健治 様）

植物の色合いと小物の組み合わせで和が上手く表現され、まとまりのある作品に仕上がっている。

○草津市立水生植物公園みずの森園長賞（ 宇野 容子 様）

ベースの黒とその上の赤がコントラストとして植物を引き立たせ、秋の雰囲気は上手く表現されている。

○金賞（ 野呂 和子 様）

小物のプレートが植物とよくマッチして、全体として欧米をイメージするカジュアルな作品として上手くまとめられている。銅葉をベースにした明るい色合いも良く合っている。

○銀賞（ 小松 茜 様）

すっきりとした構成で、秋の雰囲気が上手に表現されている。シンプルにまとめ上げられている構成が基本として参考になる。

○銅賞（ 小松 由佳 様）

和風の小道具と植物が相まって、秋の雰囲気を上手く表現されている。高低差も上手に生かされている。

一鉢グランプリ

○1位（ 小松 新 様）

色と形がバランスよく整っている。カラーリーフを中心とした構成も鉢植えとして見る人たちを長期間楽しませてくれる。

全体講評

●壁掛け部門

今年はまだまだ暑い日が続いており、素材集めに大変苦労されたことと察する。優れた植え込み技術に加え、色使いについても個性的な作品が増えてきており、見ていて楽しくなった。

●コンテナ部門

出展数が多い中で、優れた作品ばかりで審査する立場でも甲乙つけ難い内容であった。参考になる作品も多いので、目標にして欲しい。